

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	既存社会資本の横断的な活用による防災・減災対策の推進		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H24/H24		担当課室	公共事業企画調整課		事業総括調整官 勢田 昌功		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	未曾有の被害をもたらした東日本大震災を受けて、大自然災害を完全に封鎖することができるという思想ではなく、災害時の被害を最小化する「減災」という考え方が重要であることが明らかになった。そこで、厳しい財政状況の中、効率的かつ効果的な防災対策の推進を図るため、既存社会資本の横断的な活用による防災・減災対策の推進を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	厳しい財政状況の中、地域防災力を強化するため、各事業毎に取り組みられている先進的事例や、改善により多面的な活用が可能な施設例について事例収集・調査を行うとともに、事業横断的に展開していく方策を検討し、社会資本の多面的な活用手法をとりまとめた。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			4			
		繰越し等			-			
		計			4			
	執行額			4				
	執行率 (%)			100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	社会資本の多面的活用手法指針の周知。		成果実績	%	-	-	100	-
			達成度	%	-	-	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	社会資本の多面的活用手法指針の作成。		活動実績	%	-	-	100	-
			(当初見込み)	%	-	-	(100)	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	計	-	-					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	既存社会資本の横断的な活用による防災・減災対策の推進は、厳しい財政状況における災害時の被害の最小化に極めて有効な手段であるため、国が実施すべき重要な事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議された。事業目的に沿って予算を執行し、その執行状況等を適切に把握・確認した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	当該事業では、社会資本の多面的活用手法指針を取りまとめた上で、関係部局に周知し、その普及を図るものである。成果目標の達成に向け、着実に取組を進めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議していただいている。また、契約している相手方から直接報告書を提出させることにより事業実施内容を把握している。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 取りまとめた指針を関係部局に周知し、その普及を図るものとしている。本指針を関係部局に周知することで、既存の社会資本の改良や、社会資本を新設する際に、地域防災力を向上させるための社会資本の多面的活用を目的とした事業が実施されるよう促す効果がある。</p>					
外部有識者の所見						
<p>・平成24年度で事業は終了しているが、当事業の当初目的は「減災・防災対策の推進」であるため、当事業による調査結果・成果を、誰が(他省庁・自治体・民間企業含め)・どのように活用・運用に生かしていくか検討が必要である。その上で、実際に「防災・減災」に役立つものであったか、効果検証を行っていくべきである。</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
抜本業的全体改善の	事業終了に伴い事業廃止とするが、事業効果の検証を行うべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	24年度で事業完了のため廃止					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
4百万円

諸謝金 0.02百万円
職員旅費 0.04百万円

業務の発注
業務の進捗管理

【企画競争】

A.民間企業(日本工営(株))
4百万円

既存の社会資本へのわずかな改良や運用の改善等により、新たな防災・減災機能を付加することにより、多面的な活用を図っている事例を収集し、取りまとめるとともに、他事業への展開を図る上で解決すべき行政的課題・技術的課題等について、検討。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.日本工営(株) 東京支店			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	直接人件費	1.702			
その他	直接経費、その他原価、一般管理費等	2.183			
計		3.885	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本工営(株) 東京支店	既存の社会資本へのわずかな改良や運用の改善等により、新たな防災・減災機能を付加することにより、多面的な活用を図っている事例を収集し、取りまとめるとともに、他事業への展開を図る上で解決すべき行政的課題・技術的課題等について、検討。	3.885	3	99.73%
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-